



ろうさい連携だより

2022.9
第 38 号

病院の理念

患者さんの立場に立った、満足と納得をして頂ける医療の実践

特集

当院の専門センター紹介 Vol.3

消化器内視鏡センター



当院は、急性期入院加療・救急・がん診療を三本柱とした診療を登録医の先生を中心とした連携によって展開しています。

独立行政法人 労働者健康安全機構 東北労災病院

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 日本医療機能評価機構認定病院

目次

- ・ P1-3 当院の専門センター紹介
- ・ P3-4 治療就労両立支援センター紹介
- ・ P5-6 副院長就任のご挨拶
- ・ P6 地域医療連携センターから 人事異動のお知らせ
- ・ P7 令和4年9月外来担当医表

Ⅰ 消化器内視鏡センター

センター長
胃腸内科部長 大矢内 幹

当院の消化器内視鏡センターは平成21年（2009年）10月に設立され、現在は胃腸内科の常勤医10名、レジデント2名、更に肝臓内科3名の医師等が随時参加して消化器内視鏡業務を行っています。当センターは日本消化器内視鏡学会の指導施設認定を受けており、学会指導医や専門医が数人在籍しています。また、センター専属の8人の看護師は全員が消化器内視鏡技師の認定を受けており、スタッフ一同、高い専門性を保ちながら患者様に寄り添った検査・治療をするよう努めています。

検査室は、上部消化管内視鏡検査を行う部屋が4室、大腸内視鏡検査を行う部屋が2室あります。また、鎮静剤を投与した際のリカバリー室は最大8人の利用が可能です。

近年の内視鏡機器の進歩は目覚ましく、高画質で詳細な観察が可能となっています。当センターではオリンパス社製の内視鏡システムをリース契約し随時最新の機器に更新しており、近年では高画質の最新内視鏡システムであるEVIS X1シリーズを導入しました。既存のEVIS LUCERA ELITEと合わせて、通常内視鏡の他、特殊光観察、拡大内視鏡観察、超音波内視鏡検査などを併用して、質の高い診断のもとに治療方針を決めております。小腸疾患ではカプセル内視鏡とダブルバルーン小腸内視鏡を組み合わせ、また胆膵疾患では急性胆管炎や閉塞性黄疸に対する ERCP関連手技などを用いて診断・治療を行っています。

診療実績をお示しします。

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
上部消化管内視鏡	6,773	6,951	6,925	6,965	6,917
下部消化管内視鏡	3,357	3,265	3,302	3,073	3,074
膵胆道系内視鏡	99	90	125	117	103
計	10,229	10,306	10,352	10,155	10,094

◎主な治療

内視鏡的止血術(上部)	58	95	71	85	96
内視鏡的粘膜 切除術(上部)	9	14	7	5	8
上部ESD	103	140	108	128	126
下部ESD	9	7	16	30	28
内視鏡的静脈瘤 硬化療法・結紮術	31	34	20	23	21
内視鏡的胃瘻増設術	23	25	38	28	31
内視鏡的大腸 ポリープ切除術	499	537	459	381	381

上部消化管内視鏡検査は年間約7000件、大腸内視鏡検査は年間約3000件施行しております。また、治療については早期癌に対する内視鏡治療は胃・食道が年間約150件、大腸は年間約30件です。ここ数年、検査件数、治療件数ともに大きな減少はありませんでした。新型コロナウイルス感染により特に昨年、一昨年は多くの施設で診療制限を余儀なくされましたが、そんな中でも当センターの内視鏡検査や治療件数が大きく減少しなかったのは、ひとえに登録医の先生方にご紹介頂いたおかげと考えております。改めて心より感謝申し上げます。

コロナ感染症による「受診控え」の影響で2019年の胃癌や大腸癌の検診受診者数が減少した、また2020年に胃癌や大腸癌と診断された患者が前年より1割ほど減少したといった報告があり、今後は進行したがんが見つかるケースが増えることにより、患者の予後の悪化や死亡率の増加が懸念されています。がんの早期発見・早期治療は極めて重要であります、近年は内視鏡治療の発展もめざましく、今や早期食道癌、胃癌、大腸癌は低侵襲な内視鏡治療で完治が望めます。癌を早期発見するためにも、登録医の先生方におかれましては可能でしたら内視鏡検査を患者様に積極的に勧めて頂き、ぜひ当院にご紹介頂きたいと思っております。

当センターでは、日本消化器内視鏡学会が示した「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への消化器内視鏡診療についての提言」を参考に、コロナ感染対策を徹底しています。また、最近では苦痛なく検査を受けたいというニーズも高まっていますが、当院ではできるかぎり鎮静薬の使用に対応しております(当日の運転予定がなく、70歳未満で、禁忌合併症のない方に限らせて頂いております)。上部消化管内視鏡検査では、鎮静薬が使用できない場合でも最新の高画質細経内視鏡を用いることで、比較的楽に、精度の高い検査を受けて頂けます。コロナ感染や内視鏡検査に対する不安をお持ちの患者様でしたら、しっかりと感染対策をしながら少しでも楽に検査を受けていただけるよう工夫しておりますので安心して当院に受診を勧めて頂きたいと思っております。

当センターでは早期消化管癌の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を積極的に施行しております。また、当院外科では低侵襲の腹腔鏡下胃切除術や結腸切除術を積極的に取り入れてお

りますし、残念ながら根治が望めない消化器癌に対しては腫瘍内科での化学療法も行っています。地域がん診療連携病院として、胃腸内科・肝臓内科・消化器外科・腫瘍内科が密に連携して最も適した治療を行っていますので、消化器癌が発見された際には、ぜひ当院にご紹介下さいますようお願い致します。

上部消化管内視鏡検査は、特に症状のない検診目的や定期検査目的の場合は、絶食で来院されましたら当日の検査も可能です（検査予約状況により別日になる場合もございますのでご了承ください）。臨床症状を伴う場合でも、少しでも早い時期に検査を施行させていただきます。大腸内視鏡検査は、ご高齢でしたり自宅での前処置が不安な場合などは、入院での検査も可能です。また、消化管出血など緊急性の高い疾患については24時間365日いつでも対応致しますので、いつでもご相談下さい。

これからも登録医の先生方に信頼され、貢献できるよう、スタッフ一丸となって努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

治療就労両立支援センター紹介

治療就労両立支援センター
両立支援部長 野村 良平

治療就労両立支援センター(両立支援部)

東北労災病院 治療就労両立支援センターの両立支援部では、働く人の治療と就労の両立を支援しています。働いている患者さんに対する我々の最大の目標は、治療が理由で仕事を辞めることがないようにすること、あるいは、仕事が理由で治療を中断することがないようにすること、です。両立支援部のスタッフは多職種からなっており、医師3名、看護師3名、MSW2名、公認心理師1名、事務員2名の合計11名です。

治療と仕事の両立支援とは

労働者健康安全機構では平成26年度から、がん・糖尿病・脳卒中の罹患者及びメンタルヘルス不調者に対し患者休業等から職場復帰や治療と就労の両立支援への取組を通じて集積した事例の分析・評価等を行い、医療機関向けのマニュアルを作成して、最終的には全国の労災指定医療機関等へ提供し、普及することに取り組んでおります。現在では、がんなど以外にも難病・肝疾患・心疾患をはじめとして、全ての疾患を対象に継続して支援を実施しながら、両立支援コーディネーター養成研修の開催に力を注いでいます。

両立支援部では、病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられることを目指す取り組みを行っています。

労働者が、がんなどの病気を理由として安易に退職を決めてしまわないように、事業者側にも、日頃から病気に関する理解の促進や、労働者との良好なコミュニケーションが求められています。

両立支援の取組状況

東北労災病院では、宮城産業保健総合支援センターと連携しながら、

- ・ 病気と診断されたけれど、仕事を続けたい
- ・ 病気のことを会社に上手く伝えられない
- ・ 治療と仕事を両立できるか不安
- ・ 今後の働き方について誰に相談したらいいのかわからない
- ・ 職場の理解・協力が得られない
- ・ 治療に合わせた短時間勤務や、休暇の取得が難しい など

治療と仕事の両立に悩んでいる方のために、相談窓口を開設しております。

相談は、「両立支援促進員」が対応しており、当センターも協力しております。

治療と仕事の両立支援に取り組むメリット

【事業者のメリット】

- ①労働者の「健康確保」の推進
- ②継続的な人材の確保
- ③労働者のモチベーションの向上による人材の定着・生産性の向上
- ④「健康経営」の実現
- ⑤多様な人材の活用による組織や事業の活性化

【労働者のメリット】

- ①治療に関する配慮が行われることによる病気の増悪の防止
- ②治療を受けながら仕事の継続
- ③安心感やモチベーションの向上
- ④収入を得ること

治療と仕事の両立にお悩みの患者さんがいらっしゃいましたら当院での治療の有無に関わらずお問い合わせください。

お問い合わせ先：東北労災病院治療就労両立支援センター
TEL022-275-1111 (代表)

副院長就任挨拶

東北労災病院
副院長 浪間 孝重

2022年4月1日付で、東北労災病院の副院長を拝命しました浪間孝重です。2001年に当院の泌尿器科に赴任しましたので、すでに20年以上が経過しています。私は、1984年に卒業後すぐ東北大学泌尿器科に入局しました。1984年10月には当院泌尿器科ではじめての初期研修医として半年間、中野修道部長、大沼徹太郎副部長の元でご指導いただきました。その後1986年にも半年間医員としてお世話になっています。ですから、足掛け22年になります。

この20年間を振り返ると10年毎に大きな節目が訪れました。まず、2001年の赴任当初は新病棟の建設計画が進行中でした。大沼泌尿器科部長が建設委員長でしたので、病棟や外来の設計などにも内緒で参加させていただきました。新病棟の外壁の色調にも私の意見が取り入れられています。もう時効ですよね……。

その10年後の2011年3月11日14:46には、あの東日本大震災が発災しました。マグニチュード9.0。そのエネルギーは広島型原爆32,000発に匹敵したとのこと。私は、外勤中の多賀城で被災し、津波に追われながら16kmを徒歩で東北労災病院まで戻ってきました。停電と雪の中、労災病院の救急外来の明かりにホットしたことを覚えています。その後の震災対応には苦労しましたが……。

さらに10年後の2021年にはコロナ禍です。現在は第7波に飲み込まれつつあり、医療が大きく変化しています。熱があればまずコロナを疑わなければなりません。院内及び連携医の先生方と協力しながら、ウィズコロナの医療を進めていく必要性を痛感しています。そして、10年後の2031年には東北労災病院には何が待ち受けているのでしょうか？私には知る由もありませんが……。

さて、井樋院長より委嘱された副院長としての担当は、外来業務と医療安全です。外来業務では、連携医の先生方との繋がりの強化が主眼となります。連携医の先生方との紹介の円滑化や逆紹介の推進に、今後とも取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いします。また、長引くコロナ禍の中、オンライン診療の必要性が議論されています。今年の節分の新聞に、脳トレで有名な東北大の川島教授の「オンライン会話は、心が通じるか？」という記事が載っていました。オンラインでは、対面の会話で見られるお互いの脳活動の揺らぎの同調が起らないので、本当のコミュニケーションが取れていないとの内容でした。「話は通じているけど、孤独！」だそうです。マスクなしに視線を合わせた会話からお互いの脳活動がシンクロして心が通じあっていくのかも知れません。こんなところにオンライン診療の問題点が潜んでいるようです。

医療安全は、医療の基本です。先頃、2回目の病院機能評価に合格いたしました。インシデント・アクシデント報告が、タイムリーに収集されている。入院時に転倒・転落アセスメントシートを用いて全入院患者のリスク評価を行っている。院内緊急事態発生時の「ハリーコール」が24時間体制となっているなど概ね評価を頂きました。今後も、医療安全対策委員長の田中循環器科部長、医療安全管理者の吉岡看護師長と協力して、医療安全を「当院の文化」にすべく尽力してきたいと思います。

地域医療連携センターから

人事異動のお知らせ

採 用		
令和4年7月1日付	耳 鼻 咽 喉 科	佐 藤 悠 歩
令和4年8月1日付	糖尿病・代謝内科	佐々木 裕 哉

退 職		
令和4年6月30日付	耳 鼻 咽 喉 科	上 畑 里 奈

月別紹介患者数

	紹介患者数 (人)	逆紹介患者数 (人)
令和4年4月	828	761
令和4年5月	974	764
令和4年6月	1,072	891

東北労災病院 外来診療担当表 (令和4年9月1日)

科/部門		曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	特殊外来・各種教室等		
								名称	曜	時間
総合診療科			小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	小山 二郎	完全予約制		
内科	胃腸内科		白木 学	武田 瑤平	小島 康弘	大矢 内幹	小島 康弘	完全予約制		
			齋藤 晃弘	今成 賢士郎	大矢内 幹/近藤 稷	白木 学	近藤 稷			
			齋藤 紘樹		半田 朋子	清水 貴文	佐藤 拓			
	内視鏡	上部	大矢内/近藤/今成/佐藤(拓)	大矢内/近藤/半田/佐藤(拓)	大矢内/齋藤(紘)/近藤/今成	近藤/半田/山川/武田/佐藤(拓)	大矢内/齋藤(晃)/清水/今成			
		下部	小島/清水	小島/白木	白木/玉淵/武田/佐藤(拓)	小島/齋藤(晃)/齋藤(紘)/今成	白木/半田/武田			
	肝臓科		小林 智夫	阿部 直司	阿部 直司	阿部 直司	外来担当医			
			山川 暢		山川 暢	小林 智夫				
	腫瘍内科		森川 直人	—	佐藤 悠子	森川 直人	森川 直人	院外新患は毎週月・木・金曜日の午後(予約制)		
	緩和ケア内科		小笠原 鉄郎11:00～12:00	小笠原 鉄郎9:00～12:00	小笠原 鉄郎11:00～12:00	小笠原 鉄郎9:00～12:00	小笠原 鉄郎11:00～12:00			
	糖尿病・代謝内科		鍋田 藍(登録医新患)	熊谷 給里(登録医新患)	中村 麻里(登録医新患)	熊谷 給里(登録医新患)	鍋田 藍(登録医新患)	完全予約制		
	循環器内科		田中 光昭(新患)	高橋 貴久代	宇塚 裕紀(新患)	田中 光昭(新患)	田中 光昭(新患/第1・3・5)			
			高橋 貴久代(再来)		田中 光昭(再来)	宇塚 裕紀(再来)	高橋 貴久代(再来)			
	高血圧内科		金野 敏	宗像 正徳	宗像(第2・4)、金野(第1・3・5)(院外新患のみ)	宗像 正徳	金野 敏			
	腎臓内科			神田 学			神田 学	完全予約制		
	呼吸器内科		三浦 元彦	榑原 智博	田代 祐介	三浦 元彦	榑原 智博	喘息外来(予約制)	月	14:00～15:00
			田代 祐介	大塚 竜也	中村 優	中村 優	大塚 竜也	重症喘息外来(予約制)	木	14:00～15:00
			永島 彩佳	谷津 年保	阿部 武士	谷津 年保	阿部 武士	禁煙外来(完全予約制)	火	14:00～16:00
	呼吸器外科		保坂 智子				保坂 智子	新患は火・水曜日のみ 完全予約制		
	心療内科		町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤	町田 貴胤			
			町田 知美	町田 知美	町田 知美	町田 知美	町田 知美	午後診(すべて予約制) 乳児健診(及川): 月・木・金曜14:00～ 予防接種:火・木曜14:00～ 腎臓外来(千葉靖):木曜14:00～		
	小児科		千葉 靖	千葉 靖	高柳 玲子	高柳 玲子	千葉 靖			
			高柳 玲子	沼田 美香	沼田 美香	及川 智子	沼田 美香			
			及川 智子(不定期)		—		及川 智子(不定期)			
外科	消化器外科		成島 陽一	消化器外科担当医(新患のみ)	松村 直樹	徳村 弘実	野村 良平	ヘルニア外来:月・火・木・金 胆石外来:月・火・木・金 胃外科:金(受付14時まで) 大腸外科:水 ストーマ外来:火曜午後予約制		
					佐藤 馨	野村 良平	本山 一夫			
	大腸肛門外科			高橋 賢一						
				羽根田 祥						
整形外科	乳腺外科		本多 博	※本多 博(午後新患のみ)	—	千年 大勝(第1週) 吉田 清香(第2週以降)	(午前)本多 博 (午後)千年 大勝	※午後 新患のみで予約制		
	関節		井樋 栄二(午前のみ)	小河 裕明	信田 進吾	小河 裕明	井樋 栄二(10:00まで)			
			信田 進吾	奥野 洋史	小河 裕明	深田 寛人(午前のみ)	信田 進吾			
			奥野 洋史	國井 知典	國井 知典		奥野 洋史(午前のみ)			
	脊椎		國井 知典(午前のみ)	三浦 慎次郎(午後のみ)	龜山 悠宇(午前のみ)		品川 清嗣			
			品川 清嗣	—	—					
				日下部 隆		日下部 隆	※①日下部 隆			
				松谷 重恒		※②松谷 重恒	松谷 重恒			
脳神経外科				小林 史怜(午前のみ)		—		※①日下部隆 第2・4金曜 午後不在 ※②松谷重恒 第1・3木曜 午後不在		
			高橋 智子			高橋 智子	高橋 智子			
	皮膚科		谷田 宗男	谷田 宗男	谷田 宗男	秋野 萌子	谷田 宗男			
			瀬川 優里恵	秋野 萌子	瀬川 優里恵	瀬川 優里恵	秋野 萌子			
泌尿器科			阿部 優子(新患)	浪間 孝重	浪間 孝重	櫻田 祐	新患担当医	※水曜受付10:00まで【手術日】 月・火・木午後検査(予約制)		
			浪間 孝重	島谷 蘭子(新患)	島谷 蘭子(新患)	梅本 秀俊(新患)	阿部 優子			
	産婦人科		阿部 祐也	—	東北大学医師	阿部 祐也	—			
眼科			植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	植松 恵	※月曜日(受付10時まで) ※火・木曜日 手術日(受付10時まで) ※水・金曜日 午後検査(予約制)		
			山田 百合菜	山田 百合菜	山田 百合菜	山田 百合菜	山田 百合菜(午前のみ)			
			東北大学医師(午前のみ)	—	—	—	—			
耳鼻咽喉科			渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	渡邊 健一	手術日 月・水・金 再来予約制 舌下免疫療法:木曜午後 (完全予約制)		
			織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔	織田 潔			
			小林 祐太	小林 祐太	小林 祐太	小林 祐太	小林 祐太			
			戸塚 大幾	戸塚 大幾	戸塚 大幾	戸塚 大幾	戸塚 大幾			
			佐藤 悠歩	佐藤 悠歩	佐藤 悠歩	佐藤 悠歩	佐藤 悠歩			
			入間田 美保子	—	大山 健二	大山 健二	—			
リハビリ科			小松 恒弘	原田 卓	※東北大学医師(第5を除く)	小松 恒弘	原田 卓	※外来院内紹介は午前のみ		
				心リハ外来	心リハ外来		心リハ外来			
放射線治療科			田邊 隆哉	田邊 隆哉(新患)	田邊 隆哉	田邊 隆哉	田邊 隆哉(新患)	完全予約制		
			—	畠山 明	畠山 明(新患)	畠山 明	—			
リウマチ科			加藤 一郎	加藤 一郎(新患)	加藤 一郎	—	加藤 一郎	新患は電話で予約		
歯科			永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	永井 浩美	完全予約制		
			塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲	塚田 甲			
がん看護外来			※予約枠:午後のみ(13時～16時)					・2022/9/5から運用開始予定 ・完全予約制 ・()は担当看護師認定領域		
			(がん化学療法／緩和ケア)	(乳がん)	(がん化学療法)	(緩和ケア)	(がん性疼痛)			



独立行政法人 労働者健康安全機構 **東北労災病院**

〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4-3-21

受付時間 8:15～11:00

代表電話 022-275-1111 代表FAX 022-275-4431

地域医療連携センター

直通電話 022-275-1467 直通FAX 0120-772-061